

御手植えのけやき(土田)

吉野川の北岸土田の川近くに、その周囲一五メートル、高さが二〇メートル、枝のひろがりが三五メートル四方といわれる、けやきの大木がそびえたっている。

むかし神功皇后が、三韓征伐をして凱旋されてきたころに、大和平野の方には、きれいな水がすくなくだったので、吉野川の水をひいてのみ水とされた。そしてその記念として御手植えされたのが、このけやきだといいつたえらわっている。

木の下には、住吉神社のほららがあつて、畝傍の山口神社の祭典のときには、この水をはこんでいって、御神水にするならわしになっていたといふ。



けやきじい